2011年度

2011年	-								
科目	1名	死生学							
担当	教員	西岡 秀爾							
配	当	薬学2			コード	53023			
開	期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2			
授業ラ	テーマ	【必修】 「死」を見据えることによ	り、より充実した	「生」を省察すること。	•	•			
目的と	:概要	死生学は、「死」をタブー視し、非日常的なものとして遠ざける現代社会において、「死」に対する心構えという観点からいかによく生きるかを問い直そうというものである。生きとし生けるもの全てに訪れる「死」とどのように向き合い、関わっていくべきかを探究するのが死生学の課題である。「死」は決して個人一人の問題ではなく、人と人との関係性において共有されるべき問題である。受講者各自が、薬学従事者として「死」にまつわる問題意識をより一層高める機会となることを目指したい。							
成績評	平価法	筆記試験ならびに授業また、平常点を重視する (定期試験50点、レポート	5.						
テキ	必要に応じてプリントを配布する。 テスト テーマに即したビデオや新聞も適宜紹介する。								
参考	含書	死生学 第1・2・3集 / 死生学とはなにか / 平 死への準備教育 第1・2	山正実 著 / 日		(適宜紹介する。)			
	意•助言	傍観するのではなく、受診	帯生 各自が問題	意識を持って臨むこと。					
				講義計画					
回数	授業刑	**************************************		到達目標(SBO)	コア加対応番号	学習領域			
1	講義	死生学とは何か (歴史的背景、成 立)	1. 死生学の歴	を 史的背景と成立を概説できる。	独自	知識			
		-11.7	2. 死生学の研できる。	f究分野、研究方法、研究対象を説明	独自	知識			
				命倫理学の違いを説明できる。	独自	知識			
2	講義	哲学と死 (古代哲学、実存主	1. 古代哲学に	こおける死の概念を説明できる。	独自	知識			
		義哲学)	9 宝方主美排	「学における死の概念を説明できる。 「	独自	知識			
				子における死の概念を説明できる。 る死の概念を説明できる。	A(1)	知識			
			4. 人称による	死の概念の相違、文化・習慣・環境に の相違を説明できる。		知識			
		宗教と死	~ のゝロ ⋄ > 19/1/以い	NINGE GIMENT / C.MO					
3	講義	(キリスト教の視座、 仏教の視座、宗教 に学ぶ智慧)	1. キリスト教の	死生観を説明できる。	独自	知識			
		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		めの死生観を説明できる。	独自	知識			
				対視座から説明できる。 死の概念の相違を把握し、尊重する	独自	知識			
		(M) + () + ()	ことができる。		A(3)	態度			
4	講義	教育と死 (デス・エデュケー ション、死の準備教 育、いのちの教育)	1. デス・エデ <i>=</i> 説できる。	ュケーションの歴史的背景と成立を概	独自	知識			
		日、マックシック教育)	2. デス・エデニ	ュケーションの目標を概説できる。	独自	知識			
				三観に基づいた(人間性豊かな)ケアと		知識			

1			医療と死			
法について説明できる。 3. 思考といいまま葉を挟の心理状態を担害し、転 3. 思考といいまきる。 4. 子一人医療の重要性を担難し、協調的かつ柔軟 4.3	5	講義	療、終末期医療、尊	きる。	A(2)	態度
(株) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本				法について説明できる。	A(2)	知識
現代の死 「現代の死 「現代の死 「現代の死 「現代の死 「現代の死 「現代の死 「現代の死 」、医療の進歩による監禁期の変遷を説明できる。 A(1) 知識 」、日本とその家族の意思の相談、理想と現実の相 独自 知識 」、日本と必ずのできる。 」、日本と必ずのできる。 」、日本と必ずのできる。 」、日本の死 」、日本の元 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現実を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日参の現状を把握し、その対応を 」、日本における日本の現代 」、日本における日本の元 」、日本における日本の元 」、日本における日本の元 」、日本における日本の元 」、日本の元 」、日本の				慮することができる。	A(3)	態度
6 講義 (日 年 死から病院 死 人) に嫉勿進歩による臨終期の変遷を説明できる。 A(1) 知識 2. 無者とその家族の意思の相演、理想と現実の相 独自 知識 7 できる。 1 年 死ならびに帰院死の各々の問題点を説明 独自 知識 7 できる。 1 年 死ならびに帰院死の各々の問題点を説明 独自 知識 7 できる。 1 一 人称の死、二人称の死、三人称の死の相違を 入(3) 知識 7 を分割譲し、心情えを身につける。 3. 三人称の死を通して、二人称の死、さらには一人 称の死も自覚し、医療従事者としての心情えを身に 2. 2 死刑 7 歳 (A(3)	知識
(日本元から神师元 2. 施者とその家族の意思の相違、理想と現実の相 独自 知識 3. 日でをならびに病院死の各々の問題点を説明 独自 知識 二つの死 (「他者の死(二人 株 三人称の死)」と 元の死の死、二人称の死、三人称の死の相違を 株 三人称の元」と 元の死の元 1. 一人称の死、二人称の死、三人称の死の相違を 株 三人称の死」と 元の死の元 2. 医療定事者として手助けできる部分とできない部 A(2) 他度 3.三人称の死を相立て、二人称の死、さらには一人 旅自 元の元 1. 世界ならびに日本における死刑の歴史、現状、そ 独自 元 元 元 元 元 元 元 元 元	_	34t 34	現代の死			I make
遠を説明できる。 3 日を突ならびに病院死の各々の問題点を説明 3 別職 3 日を突ならびに病院死の各々の問題点を説明 3 別職 3 日を突ならびに病院死の各々の問題点を説明 3 別職 3 日本におけるの死(二人称の死(二人称の死)」と 1 日と死① 死利制度 2 に隣従事者として手助けできる部分とできない部分と計議し、心情えを身につける。 3 三人称の死を通して、三人称の死、ぎらには一人称の死を自覚し、医療従事者としての心情えを身に 3 三人称の死を通して、三人称の死、ぎらには一人称の死を自覚し、医療従事者としての心情えを身に 3 三人称の死を通して、三人称の死、きらには一人称の死を自覚し、医療従事者としての心情えを身に 3 三人称の死を通じて、三人称の死、きらには一人称の死を自覚し、医療徒事者としての心情えを身に 3 三人称の死を通じて、三人称のの死、ずらには一人称の死を自覚し、医療な事者としての心情えを身に 3 三人称の死を自覚し、医療な事者としての心情えを身に 4 別職 4 日本における死刑の歴史、現状、そ 4 日本における死刑の歴史、現状、そ 4 日本の主ができる。 4 月立意とができる。 4 月立意とができる。 4 日本の主がための連び込を中間し、配慮する 4 日本の能力の限界を認識し、チームワークで援助することができる。 4 日この能力の限界を認識し、チームワークで援助することができる。 4 日この能力の限界を認識し、チームワークで援助することができる。 4 日のの能力の限界を認識し、チームワークで援助ない。 4 日のの能力の限界を認識し、チームワークで援助ない。 4 日のの事を認識し、手上のアークを表し、 4 日のの事を認識し、手上のアークを表し、 4 日の事を必要を身につける。 4 知識 4 日報を身につける。 4 日本における自殺の現状を把握し、その対応を対論することができる。 5 日報に関する誤解と事実を概説することができる。 6 日報に関する誤解と事実を概説することができる。 6 日報に関する誤解と事実を概述することができる。 6 日報に関する誤解と事実を概述することができる。 6 日報に関するに関するに関するに関するに関するに関する 5 日報に関するに関するに関するに関するに関するに関するに関するに関するに関するに関する	6	講義			A(1) 知識	
できる。				違を説明できる。	独自	知識
1					独自	知識
(A.3) 別職 (A.2) (A.3) 別職 (A.2) (A.3) (A.2) (A.3) (A.			二つの死			
分を計議し、心構えを身につける。	7	講義	称、三人称の死)」と 「自己の死(一人称	説明できる。	A(3) 知識	
#				分を討議し、心構えを身につける。	A(2)	態度
1.世界ならびに日本における死刑の歴史、現状、そ 独自 知識 知識 知識 知識 知識 知識 2.死刑存置と死刑廃止の主たる根拠を列挙すること 独自 知識 3.死刑制度の是非を討議することができる。 独自 独立意見を否定することなく尊重し、寛容的態度 4.対立意見を否定することなく尊重し、寛容的態度 4.対立意見を否定することができる。 独自 態度 生と死② 死別悲嘆 1.グリーフワーク、グリーフケアを説明でき 3.死別による。 4. 対リーフケア) 2. グリーフワーク、グリーフケアを説明でき 3. 死別による遺族の心理状況を把握し、配慮することができる。 4. 自己の能力の限界を認識し、チームワークで援助 4. (3) 態度 1. 日本における葬儀の変遷を説明できる。 4. 自己の能力の限界を認識し、チームワークで援助 4. (3) 1. 日本における葬儀の変遷を説明できる。 4. 自己の能力の限界を認識し、チームワークで援助 4. (3) 1. 日本における葬儀の変遷を説明できる。 独自 知識 2. 現代の葬儀(家族葬、自然葬、樹木葬など)の多様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。 3. 一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死生観を身につける。 3. 一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死生観を身につける。 1. 日本における自殺の現状を把握し、その対応を 独自 知識 2. 自殺で助かの応用 1. 日本における自殺の現状を把握し、その対応を 独自 知識 2. 自殺に関する誤解と事実を展説することができる。 4. (3) 知識 2. 自殺に関する誤解と事実を展説することができる。 4. (3) 知識 4. (4. (3. (4. (4. (4. (4. (4. (4. (4. (4. (4. (4				称の死を自覚し、医療従事者としての心構えを身に	独自	態度
本)	8	講義				知識
おできる。 独自 内臓 おしま ましま おしま ましま おしま ましま ましま			本)	9 死刑方署し死刑廃止の主たる担拠な刑券すること		
4.対立意見を否定することなく尊重し、寛容的態度 で討議することができる。 4(3) 態度 生と死② 死別悲嘆 パリーフ・グリーフワーク、グリーフケアを説明できる。 独自 知識 知識 知識 和識 和識 和識 和談 和談 和談 和談 和				ができる。		
生と死② 死別悲嘆						
9 講義 (死にゆく者と遺される者、グリーフとグリーフワーク、グリーフケアを説明できる。 知識 2.グリーフケア) 2.グリーフワーク(死別悲嘆)の過程を概説すること A(3) 知識 3.死別による遺族の心理状況を把握し、配慮することができる。 4.自己の能力の限界を認識し、チームワークで援助することの必要性を概説できる。 4.自己の能力の限界を認識し、チームワークで援助することの必要性を概説できる。 独自 知識 (死者と生者の関わり、お葬式、お墓) 1.日本における葬儀の変遷を説明できる。 独自 知識 2.現代の葬儀(家族葬、自然葬、樹木葬など)の多様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。 3.一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死生観を身につける。 4.(3) 態度 死生学の応用①自殺予防への応用(関係のなかで生きる(いのち)) 1.日本における自殺の現状を把握し、その対応を決し、禁めできる。 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。 独自 知識 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識			サレ死の 	で討議することができる。	A(3)	態度
ができる。	9	講義	(死にゆく者と遺され る者、グリーフとグ		独自	知識
とができる。					A(3)	知識
することの必要性を概説できる。				とができる。	A(3)	態度
1.日本における葬儀の変遷を説明できる。 独自 知識 知識 2.現代の葬儀(家族葬、自然葬、樹木葬など)の多様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。 3.一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死性観を身につける。 3.一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死性観を身につける。 2.日本における自殺の現状を把握し、その対応を対議することができる。 知識 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。 知識 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識 A(3) 知識 A(3) 和識 A(4) A(4) A(5) A(5) A(6) A					A(3)	態度
(死名と生者の関わり、お葬式、お墓) 2.現代の葬儀(家族葬、自然葬、樹木葬など)の多様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。 3.一人称ならびに二人称の死を想定し、然るべき死生観を身につける。			生と死③ 葬送儀礼			
11 様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。 A(3) 歴度 11 講義 死生学の応用① 自殺予防への応用 (関係のなかで生きる(いのち)) 1.日本における自殺の現状を把握し、その対応を 討議することができる。 独自 知識 11 講義 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。 独自 知識 12 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。 A(3) 知識 12 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識	10	講義				知識
11 講義 生観を身につける。 無度 11 講義 死生学の応用① 自殺予防への応用 (関係のなかで生き る(いのち)) 1.日本における自殺の現状を把握し、その対応を 討議することができる。 独自 知識 11 講義 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。 独自 知識 12 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識				様性を把握し、柔軟な姿勢を身につける。	A(3)	態度
11 講義 自殺予防への応用 (関係のなかで生き る(いのち)) 1.日本における自殺の現状を把握し、その対応を 討議することができる。 独自 知識 2.自殺に関する誤解と事実を概説することができる。。。 独自 知識 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識					独自	態度
る。 独自 知識 3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識	11	講義	自殺予防への応用 (関係のなかで生き		独自	知識
3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 A(3) 知識						知識
				3.精神疾患と自殺の関係を説明することができる。 4.自殺の予防と対策を討議することができる。	A(3) A(3)	知識 態度

		死生学の応用② 医療現場への応用				
12	講義	I		生観、価値観、人生観が異なること こ対応できる姿勢を身につける。	A(3)	態度
		(告知、自己決定 権、消極的安楽死)				
			できる。	と高める関わり方(cure、care)を説明	A(3)	知識
				課題を概説できる。	独自	知識
			4.インフォームド	・コンセントの重要性を説明できる。	A(2)	知識
13	死生学の応用③ 医療現場への応用 II 講義 (信頼関係、関係存在、コミュニケーション)			対話の重要性を説明できる。		知識
			being)の重要性	とだそばにいること(not doing but を説明できる。	A(3)	知識
			応できるよう姿勢	ケースの重要性を把握し、柔軟に対けを身につける。	A(3)	態度
			4.専門性と人間性を兼ね備えた医療従事者として 活動できるよう心掛ける。		A(3)	態度
14	講義	死生学の応用④ 家族関係への応用 (自己の死生観の確立、リビング・ウィル)			A(2)	態度
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2.自分の家族や身近な人たちと「生」や「死」について(臓器移植、延命治療、リビング・ウィル)考える機会を設ける。		独自	態度
15	講義	まとめ 死 生学の課題と展開 (「Death Studies」から「Death and Life Studies」〜)	1.死生学の限界と課題を概説できる。		独自	知識
			2.死生学の展望を概説できる。		独自	知識
	3.死生学を生涯学		学習として把握できる。	A(2)	態度	
ÁD	ı		₩. □ W	授業方法		1
一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材な	ど	時間(分)
A(1) A(2) A(3)	講義	講義室	1(0)	配布資料、ビデオ、新	聞	90分×15